

## アン・ハサウェイのコテージ Ann Hathaway's Cottage

アン・ハサウェイのコテージへ、ようこそ。ここはウィリアム・シェークスピアの妻アンが 1582 年に結婚するまで住んでいた家です。交際中や結婚後のシェークスピアは、ストラトフォードからこの家のあるショテリー村まで何度も足を運んだのではないのでしょうか。

### コテージの庭園

アン・ハサウェイのコテージと周りの庭園の美しさは長年芸術家たちに愛され、「オールド・イングランド」のロマンチックなイメージの代表とされてきました。ここではこの庭園のほかに、果樹園やシェークスピアの樹木園を見ることができます。1988 年に設計された樹木園には、シェークスピアの作品にちなんだ木々や彫刻、16 世紀のデザインを基にしたイチイの木の迷路などが置かれています。また、コテージの向かい側からショテリー川に沿って、散歩を楽しむことも出来ます。

### コテージ

コテージの道に面した部分は 15 世紀中頃に建てられ、アン・ハサウェイが育った農家の母屋でした。奥の 1 段高い部分はアンの兄弟が住んでいた 17 世紀に増設されたようです。その後 1892 年に Shakespeare Birthplace Trust (シェークスピア生誕の地基金)によって保存の為に買い取られた後も、この家にはハサウェイ家の子孫が 1911 年まで住み続けていました。家の中の家具は 16 世紀から 19 世紀の広範囲に渡る年代品で、かつてハサウェイ家が所有していたものも含まれており、内装に独特の趣を与えています。

### 玄関

中に入るとまず最初の部屋が農家の玄関です。元々は屋根まで吹き抜けになっていたようですが、後に現在の天井が作られました。ここに見られる家具のうち、暖炉の横にある楡張りのセトル（背もたれ・収納付の長椅子）には、交際中のウィリアムとアンがよく一緒に座っていたと伝えられています。また、様々な食器が飾られた 17 世紀後期の食器戸棚、18 世紀初期のテーブルなどが見所です。

### 食料貯蔵室と冷蔵室

玄関から伸びる細い廊下は、寒い北向きの食料貯蔵室と冷蔵室に通じています。これら2つの小部屋はエールなどのビールを含む一般の食料の貯蔵のため、また食料貯蔵室は乳製品を作る場所としても使われていたようです。

## 2階の部屋

小さな階段をのぼった2階は主に寝間、または衣服などを保存しておく部屋として使われていました。踊り場の左の部屋はブロード・ソーラー（保存部屋の上の部屋）と呼ばれる来客用の寝室で、藁でできた珍しい椅子をはじめ 16-18 世紀の家具が置かれています。

その隣の主寝室には、ハサウェイ家の家宝として知られる檜の木彫の美しい 16 世紀のベッドが置かれています。ベッドの横にある脇掛椅子にはシェークスピア家の紋章が小さく彫られており、18 世紀の伝統的な言い伝えによるとシェークスピアから孫娘への贈り物であったのだそうです。

残り二つの部屋の間壁には地面から屋根まで伸びる曲った檜の梁の一部が見られます。これは 15 世紀の建築物によく見られる木架構と呼ばれる構造です。ここでは内壁が一部取り除かれ、細木と漆喰を塗った過程が見えるようになっています。

## 台所

急な階段を下った先は台所です。農家の生活で中心的な役割を果たした場所で、この部屋の大かまどで毎日の食事が料理されていました。左側には昔のままのパンかまどがあり、パンを焼く際に使われたその他の器具と共に、かまどの入口には木製の扉が付いているのが見られます。アン・ハサウェイの時代には、敷石畳の床の上に井草や薬草を敷いていたようです。

## 展示室

家の裏口から外に出る途中の小さな居間には、この家にゆかりのある品や 20 世紀初めに住んでいたハサウェイ家の子孫の写真などが展示されています。小部屋から庭にぬけると右手が果樹園と出口です。

楽しんでいただけたでしょうか。近代化の進む中、このショテリー村ではシェークスピアが暮らし、作品に生き生きと描いた時代の田園の雰囲気味わっていただけたのではないかと思います。

お帰りの際、この案内書をギフトショップにご返却ください。